

# 三鷹市の道 —元あるものを今よりもっと

ハサミーイ

林菜月, 伊藤愛弥, 佐々木結愛, Vo Ngoc Thao My  
岡村久和

亜細亜大学 都市創造学部 都市創造学科

キーワード: 景観, 交通, 道幅

## 1. 調査のきっかけ

三鷹市内、福祉関連 11 団体の協力による基本構想の策定に向けたアンケート調査の資料を拝見した。その資料には、「道が歩きにくい」「道幅を広げてほしい」という三鷹市民から道に関する改善の声が多く挙げられていた。

さらに、2022 年の 10 月末に韓国・梨泰院で転倒による圧死事故が起こったことも調査理由のひとつである。この事故は幅 4m ほどの坂道で道幅全体に人々が滞留したことがきっかけになり起こった。三鷹市は都心からのアクセスが良く人々のベッドタウンにもなっているため通勤ラッシュの際に道が混雑することもある。事故が起きてからでは遅いと韓国の事故から道幅の重要性を感じた。

以上のことから道に着目して調査を行なった。

## 2. 調査方法

私たちは実際に三鷹駅周辺の約 2 km 圏内の道路を歩いてみた。



※実際の写真

## 3. 調査結果

三鷹市の道を歩いてみて様々な問題が出てきた。

- ①道幅の狭いところがある。
- ②道路の分離が少ない。
- ③道や施設の案内が不十分である。等

中でも 1 番はじめに挙げた道幅が狭いという点を最も改善すべき点であると考えた。

そこで三鷹市の道路に関する政策の現状を調べた。三鷹市の現状としては、「バリアフリーのまちづくり基本構想 2022」に基づいて、道路のバリアフリー化、そして良好な都市空間の創出・都市防災機能の強化のための無電柱化が推進されていた。この政策の目標は 2022 年には整備完了が示されている。

### ◀2-(4)-①「バリアフリーのまちづくり基本構想 2022」の策定と推進

現行の「バリアフリーのまちづくり基本構想」の達成状況を検証し、法改正に対応した、新たな「バリアフリーのまちづくり基本構想 2022」を策定し、推進します。

計画期間 (平成34年)の目標	前期				中期 (27~30)	後期 (31~34)
	23	24	25	26		
「バリアフリーのまちづくり基本構想 2022」の策定と推進	策定	推進				

### ◀4-(1)-② 架空線の地中化・無電柱化の推進

無電柱化の目的は、安全で快適な歩行空間の確保・良好な都市空間の創出・都市防災機能の強化です。電線共同溝等の中地中化による無電柱化のほか、地中化による無電柱化が困難な箇所にも柔軟に対応するため、裏配線や軒下配線等の中地中化以外による無電柱化についても検討します。都市計画道路 3・4・13 号（牟礼地区）、市道第 135 号線（三鷹台駅前通り）、都市計画道路 3・4・19 号（調布基地跡地周辺）の 3 路線を対象として整備を進めます。

計画期間 (平成34年)の目標	前期				中期 (27~30)	後期 (31~34)
	23	24	25	26		
架空線の地中化・無電柱化の推進	市道 3 路線の無電柱化	1 路線			1 路線	1 路線

※バリアフリーのまちづくり基本構想 2022

#### 4. 提案

三鷹市の現状を踏まえ、三鷹市に提案することは、2つある。

- ①歩道を広く見せる。
- ②面白い道路を作る。

##### ①歩道を広く見せる。

- ・雑草、電柱などの障害物を極限まで減らす。
- ・段差を無くし、歩道と車道がすぐに見分けられるように道路の配色を変える。



※配色の例

##### ②面白い道路を作る。

- ・イメージハンプの活用。
- ・キャラクターなどを利用し、錯覚アートを施す。



※イメージハンプ

イメージハンプとは 物理的な凹凸をつけず、舗装の色や素材を変えて立体に見せる路面標示。運転者に注意を促し、その場所で減速させることを目的として設けるもの。

静岡県浜松市では実際にイメージハンプを使い交通事故を4割減らすことができた事例もある。

##### ※参考

[立体的に見える路面塗装「イメージハンプ」導入、浜松市が「交通事故ワースト」脱出作戦：読売新聞オンライン \(yomiuri.co.jp\)](https://www.yomiuri.co.jp/news/national/2022/07/22/220722_0010.html)

また、三鷹市はジブリとつながりがある街であるため、三鷹市×ジブリの錯覚アートを描く。



※横断歩道に錯覚アート

三鷹駅から三鷹の森ジブリ美術館までの道のりに、ジブリキャラクターや宮崎駿さんが描いたPoki (ポキ)などを道路に散りばめ、市民や市外から来た人が道を歩いていて楽しくなるような道を作る。

#### 5. 活動計画

実施場所の調査や予算の算出で実施までに時間がかかると考え、これらの提案は3年間を目標に設定する。2023年の1年目で調査の作業を完成させ、2年目から具体的な実施の計画を立て始め、2025年までの完工を予定している。